

●岡山西部総合公園 第1回 公園の新しいサービスを考える
 ワークショップを開催しました。

岡山市では岡山西部総合公園で活動してみたいことや活動を支える管理棟のありかたについてのワークショップを平成25年から継続的に開催し、みなさんと一緒に考えてきましたが、今回は、西部総合公園の“公園の新しいサービスを考える”ワークショップを開催しました。

参加された方々は岡山で活躍する公園を愛するプレーリーダー・ボランティアの方々や実際に市内の公園で様々な活動をされている団体さんなどで、みなさん公園に対する思い入れや意識が高く、様々なアイデアが出され、とても充実した時間となりました。

日時 : 平成28年1月23日(土)
 16:00~18:00
 場所 : 岡山大安寺中等教育学校
 参加人数 : 19人、学生

- ◆ 当日のスケジュール ◆
- 16:00 はじめに
 - 16:05 基礎情報(上位計画)
 - 16:35 新しい公園サービスとプログラムの紹介
 - 16:50 ワーク(意見抽出)
 - 17:40 発表
 - 17:55 おわりに
 - 18:00 終了

●基礎情報(上位計画)

ワークに先立ち、岡山市と管理棟の建築設計担当者より、公園と管理棟の前提条件について説明を行いました。

公園全体については、昨年の公園デザイン・管理棟デザインのワークショップの様子をお伝えするとともに、公園の主要施設ゾーンについての説明をしました。公園内は、管理棟と、癒しの庭、見晴らしの丘、活動の森、子ども広場、芝生広場、交流の庭、鉄道の庭、多目的広場、イベント広場の9つの主要ゾーンからなっており、各ゾーンさまざまな使いこなしができるという説明をしました。

管理棟については、「公園を楽しむための活動拠点(基地)」「全天候型で何時でも屋外的活動が楽しめる」というコンセプトのもと、公園の活動を支えるプログラムや機能・サービスについてどのようなことができるか、CGを使っでの説明もあり、どのような使いこなしができるかのイメージも掴んでいただけたのではないかと思います。



管理棟ベース

●新しい公園サービスとプログラムの紹介

公園や公共空間での先進的なサービス事例として、“行政主導”、“市民・NPO・大学主体”、“民間事業者主体”、“行政×民間”の4つのカテゴリーに分けて、民間活用や公園運営などの先進事例を紹介しました。“行政主導”では水都大阪のボランティアの育成についてや、パブリックアートを展開しているおおさかカンヴァス推進事業について紹介し、“民間事業者主体”では関西ろうさい病院のホスピタルパーク、“行政×民間”は柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)などを紹介し、岡山西部総合公園にどういったサービスやプログラムがあったら良いかを考えるヒントとなったと思います。



●ワーク(公園サービスについて)



公園の前提条件と、公園や公共空間での先進的なサービス事例の紹介を参考にしながら、3つの班に分かれて、各ゾーンごとにどのような公園サービスがあると良いかを、意見を出し合いました。

公園に対する思いや、この場所ではこんなことがしたい、こんなサービスはどうかなど、みなさんと話し合いながら、アイデアを付箋に書いて模造紙に貼っていき、ゾーンごとの意見をまとめていきました。初めはなかなか良いアイデアが浮かばず戸惑う場面もありましたが、ワークを進めていくうちに、みなさんの思いややりたいことが明確になっていき、どんどん意見が出てきて、とても有意義なワークとなりました。



●ワーク(意見抽出)

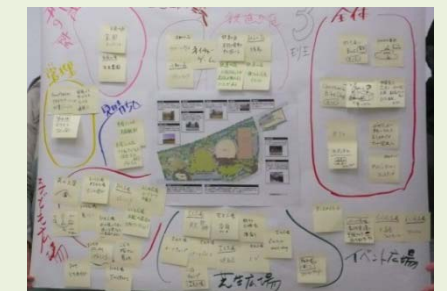
各ゾーン様々なプログラムやアイデア、使いこなしについての意見がたくさん出ました。ゾーンごとに意見を出し合っていました。全体を通してこんなこともできないか、など、様々な意見が集まりました。意見がまとまったところで、各班の意見を発表していきましたが、どの班も公園への思いが詰まった意見やアイデアが満載でした。



1班



2班



3班

Vol. 01 岡山西部総合公園 公園の新しいサービスを考えるワークショップ

●市民意見のまとめ

今回のワークショップで出されたご意見を紹介します。配置や空間、使い方のイメージなどについて、多くの意見をいただきました。

